JA広島果実連-福山市の研修制度

🗐 研修の概要

県内ぶどう産地は、生産者の高齢化に伴う栽培面積と生産量の減少を防ぐため、新たな担い手の確保が喫緊の課題となっています。

このためJA広島果実連は、平成24年に設置した広島県果 樹農業振興対策センターの機能を拡充し、ぶどう専門の新規就農 を目指す担い手の実践研修を行う沼隈農園を沼隈町果樹園芸組合 及び、JA福山市と一体となって開園しました。(平成27年11月)

担い手の確保から研修の実施、就農園地の確保及び経営開始から経営安定 までの支援体制を沼隈町果樹園芸組合、JA福山市及び関係機関と協働連携し て実践し、県内ぶどう産地に担い手育成の仕組みづくりを波及させることを狙いとしています。











